

中国語 (Chinese)

中国語入門 (Introductory Chinese)

(医 ((保)1 年))

荒武 達朗・准教授 / 大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部

1 単位 後期 火 3・4

(平成 19 年度以前の授業科目: 『中国語入門』) (平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前) の授業科目: 『中国語 (1)』)

【授業の目的】 前期で学んだ発音や基礎文法を生かし、そこから一步進んだ会話ができるように、日常生活に必要な中国語の表現方法や話し方を身に付ける。また、中国人の考え方、生活習慣、中国の文化、中国の社会事情を紹介し、隣国である中国に対する理解を深める。

【授業の概要】 テキストで新出単語・文法事項を学習し、発音練習をした後、教師と学生による会話練習に最も重点を置き、会話運用能力を高めていく。また、中国に関するビデオ教材や CD 等も適宜使用し、中国事情の紹介をする。

【到達目標】 中国語で場面に応じたコミュニケーションができる。

【授業の計画】

1. 前期のかんたんな復習
2. ★ 後期は前期の続き、第五課から開始する予定である。
3. ★ 一回で一課進むとは限らない。状況に応じて適宜進度を変える。
4. 第五課 あそこで少しお待ちください
5. 第六課 少し話せます
6. 第七課 検査室に行って検査をしてください
7. 第八課 どうしましたか
8. 第九課 口を開けてください
9. 第十課 この薬を飲んだことがありますか
10. 第十一課 服をあそこに置いてください
11. 第十二課 病状はずっとよくなりました
12. ★ 十二月の終わり頃に中間テストを一回実施する
13. 期末テスト

【教科書】 山田真一 『医療系学生のための初級中国語』(白帝社)2,500 円 (必ず購入すること) ※前期より継続して使用する。

【成績評価の方法】 まず、授業での態度が評価の前提となる。授業での態度が良好な学生とは睡眠、私語を一切しないことは勿論、教師に対して畏敬の念を抱き、己が修行中の身であることを自覚する者をさす。授業態度の良好な学生に対しては、小テスト 33. 33%, 中間テスト+期末テスト 66. 67%で評価を実施する。

【再試験の有無】 原則としては有り。ただし小テスト及び中間テストの成績が著し

く悪い場合には再試験を認めない。

【受講者のメッセージ】 授業中は積極的に声を出して練習する。予習・復習時には、教科書付録の音声教材を活用する。繰り返し聞くことで中国語の音とリズムに慣れ、「聴き取る能力」と「話す能力」を養うことができる。

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=221262>

【連絡先(オフィスアワー・研究室・Eメールアドレス)】

⇒ 荒武 (2312, 088-656-7148, aratake@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL

【備考】

- ◇ 学生諸君の向学心、新たな領域に踏み込む積極性を期待する。
- ◇ 心して授業に臨むこと。
- ◇ 当然の事ながら、前期不合格者は後期の授業を受講できない。